

提出課題①：必要な情報の洗い出し、情報の取得方法の検討（1/2）

解答例（あくまで一例です）

#	取得項目	取得目的	取得先
1	製造現場における製造工程の全体像	AI実装後の業務プロセスを検討するため	製造部長・製造各課担当者
2	製造工程毎の作業内容	製造工程毎の課題を把握するため／AI実装後の業務プロセスを検討するため	製造部長・製造各課担当者
3	製造工程毎の担当部署	AI化対象業務の詳細情報取得ヒアリング先を把握するため	製造部長
4	製造工程毎の必要人員数	想定効果を算出するため	製造部長
5	検品対象物	検品工程のどの業務をAI化するのか具体化するため	品質管理・検査担当者
6	検品対象毎の製造数	検品工程のどの業務をAI化するのか具体化するため	品質管理・検査担当者
7	検品対象毎の検査対象数	検品工程のどの業務をAI化するのか具体化するため	品質管理・検査担当者
8	検品対象毎の検査方法	対象データを明確にし、データ取得方法を検討するため	品質管理・検査担当者
9	検品対象毎の検査スピード	対象データを明確にし、データ取得方法を検討するため	品質管理・検査担当者
10	検品対象毎の対応人員数	想定効果を算出するため	品質管理・検査担当者
11	検品対象毎の検査精度	AI導入における目標を設定するため	品質管理担当者

提出課題①：必要な情報の洗い出し、情報の取得方法の検討（2/2）

解説

AIの導入プロジェクトを具体的に検討する上では、以下の点を開発要件として定義しておくことが必要となります。

1. 製造工程の全体像を踏まえ、どの工程をAI化するのか
2. AI導入における精度目標をどのように設定するか
3. AI導入において、どのようなデータが必要で、そのデータをどのように取得するか
4. 取得可能なデータを踏まえ、どのような方針でモデリングを行うのか
5. AI導入によって、どの程度の想定効果が期待できるのか

そのため、以下の情報を現場から吸い上げ、要求として定義していく必要があります。

- a. 製造現場における製造工程の全体像・製造工程毎の課題：製造部長／製造各課担当者へのヒアリング（模範解答例の#1~4）
－どのような順序で製品は製造され、製造工程ごとにどのような課題があるか
- b. 検品工程の詳細：製造部長／品質管理・検査担当者へのヒアリング
－どんなものを、どのくらいの人が、どのような工程・方法で、どのくらいの数を、どのくらいのスピードで検査しているのか（模範解答例の#5~9）
- c. AI化対象業務に必要な精度目標：品質管理担当者へのヒアリング（模範解答例の#11）
－出荷にあたって求められる品質精度はどの程度か
- d. AI化対象業務にかかる人員数：品質管理担当者・検査担当へのヒアリング（模範解答例の#10）
－AI化対象業務にどの程度の人員が関わっているか